

# チーム えがお



発行者:校長 岡田達也

【学校教育目標:自ら学び 心豊しく たくましく生きる児童の育成】  
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子



～ えがお かがやき かんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～

## 新年 あけましておめでとうございます!



平成29年のスタートは、天候にも恵まれ、暖かで穏やかな始まりとなりました。昨年中は、本校の教育活動に多くのご支援・ご協力をいただき、職員一同心より感謝申し上げます。おかげさまで多くの教育活動や学校行事を無事に終えることができました。これも保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげと、改めてお礼申し上げます。

さて、今日から3学期がスタートしました。3学期始業式での子どもたちの態度はとても立派で、真剣に話を聞く姿にやる気を感じました。今年も、子どもたちが、元気に健康で、安全に生活し、学校目標のように「かしこく」「やさしく」「たくましく」成長してくれることを願っています。そして、今学期は、各学年のまとめとなる学期です。新学年に向けてよりよい締めくくりの学期となるよう、教職員一丸となって努めていきたいと考えております。

ご家庭でも、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 【3学期始業式の話】

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

みなさんは、新年に当たって、「今年の目標」を考えましたか。そして、その目標をやりとげるために、自分が毎日努力すべきことをしっかりと考えましたか。ただ目標を決めるだけじゃだめです。毎日、何を努力するのがとても大切です。先生たちは、みなさん一人一人が今年の目標に向かってがんばり、さらに「レベルアップ」してくれることを期待しています。

今日は、みなさんに南アメリカ、アマゾンに古くから伝わる『ハチドリのはとすく』というお話をしてしたいと思います。

森が燃えていました  
森の生きものたちは われ先にと 逃げていきました  
でもクリキンディという名の ハチドリだけは いったりきたり  
くちばしで水のはとすくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます  
動物たちがそれを見て  
「そんなことをして いったい何になるんだ」  
といて笑います  
クリキンディは こう答えました  
「私は、私にできることをしているだけ」



\*『ハチドリのはとすく』(監修・辻信一, 光文社)

みなさんは、10センチくらいのお小さなハチドリのはとすくは、大きな勇気を持っているように感じませんか。そして、森の生きものたちは自分のことしか考えない臆病者のように感じませんか。でも、なぜ森の生きものたちは、われ先に逃げていったのでしょうか。たぶん、それぞれにちゃんとした「逃げた」理由があったはずですよ。

クリキンディは、大切なことを私たちに伝えてくれます。それは、「腹を立てたり、誰かを悪く言ったりする時間があるなら、自分にできることをきちんとやっていくことが大切だ。」ということ、そして「自分には無理だ、だめだとあきらめそうになったとき、『自分にはできることはあるんだ』と思うことで、一歩前に進むことができるんだ。」ということです。どんなときでも、私たち一人一人に「自分にはできることがあるんだよ!」と、クリキンディは教えてくれています。そして、どんなに小さな「自分にできること」であっても、それらを「つなぐ」と、「つながる」と、すばらしい「自分たちにできること」になるということも。3学期は自分の目標を達成するために、『自分にできることをする』ことを忘れないでほしいと思います。

今まで苦手だったことや自分の課題に取り組み、もっとすばらしい自分を一生懸命に目指してほしいと思います。そういう強い気持ちがないと、絶対に伸びません。そして、もういいやとあきらめそうになったときは、このハチドリのことを思い出してくださいね。先生たちは、みなさんの成長を楽しみに3学期もがんばります。どうぞよろしく申し上げます。



